

# Youth Manna

マルコ1:35  
さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/7/10(月)

## 1コリント6:1-11

コリントの教会で問題が発生した時、教会の人は聖徒達ではなく、教会外の人に訴えようとする者がいたという。パウロは、教会以外の人を「正しくない人」と説明している(1)けど、教会の人、教会以外の人にはどんな違いがあるのだろうか？

★教会の友達と、教会以外の友達で違うことを探して書いてみよう！

(例) 神様、聖書の言葉を知っているか・いないかが、教会の友達、教会外の友達の大きな違い。

(例) 教会の友達は一緒にいて安心できるけど、クラスメイトには秘密にしていることがある。

★自分が不必要に傷ついたり、神様が喜ばれない行動(9-10)に陥って罪を犯したり、そこから苦い根が生え出ないようにするためにも(ヘブル12:15)、同じ神様、正しい方を信じている友達にまず相談してみよう！

2023/7/11(火)

## 1コリント6:12-20

この箇所の背景には、「救われているのだから何をしてもいい」「霊は救われているのだから、からだのことはどうでもいい」という誤った理解があったようだ。

なぜ性的不品行や淫らな行いを避けるべきなのだろうか。それが書かれている箇所を書き出したり、しるしを付けたりして、自分の内にしっかり確信を持とう！

19,20節を読もう。イエス様の十字架の血によって君は買い取られたんだ。自分のからだ(行いや生き方)をもって神の栄光を現そう！

2023/7/12(水)

## 1コリント7:1-16

前章で、淫らな行いを避けるように、また自分の体を持って神の栄光を現すようにと教えたパウロは、今日の箇所で具体的な道を示している。

パウロはまず、信者たちに結婚するよう勧める。ただし、結婚するようにとパウロが言うのは命令ではなく、淫らな行いを避けるためのものである。パウロは、独身でいながら淫らな行いを避ける自分のようであってほしいと願っている。しかし、独身でいることも結婚も、人それぞれに神から与えられた賜物に従った生き方の問題である。

神の栄光を現す生き方がどのようなものか、祈り、考えてみよう！

2023/7/13(木)

## 1コリント7:17-24

割礼や奴隷など今の時代と違うことが出てくるが、重要なのは、19v.「重要なのは神の命令を守ることです。」ここに尽きる。

何かの奴隷になっていないだろうか？

それは当時のような奴隷ではないが、モノに考えに支配されたり、何かに神様以上に想いをとられてはいないだろうか？神様の想いに目を向け、キリストに属する者として歩もう！！

今日もキリストの愛を流していこう！！

2023/7/14(金)

## 1コリント7:25-40

今日の箇所は恋愛や結婚についてパウロが書いてる箇所だよ。

25-35vまで読もう。  
●パウロは恋愛や結婚を否定してはいないけど、独身を勧めている。その理由は何だろうか？32-35vにあるよ。

●恋愛や結婚について、きみの周りや友だちはどんな考えが主流だろうか？31vから今年の自分を考えると、何を大事にしようと思う？

2023/7/15(土)

## 1コリント8章

パウロは今日の箇所で、『偶像にささげた肉』について書いているね。まず、そもそも神様以外の偶像の神は存在しない、だからそれにささげたものを食べても何も問題はない…これは本当のことだけど、この時代に新しくイエス様を信じただばかりの人にとっては、気持ち的に後ろめたさを感じることもあったんだ。ただ、知識を教えるだけでは大切なことは伝わらないこと、かえって相手を傷つけてしまうだけのあることをパウロは教えてくれているね。

正しいこと、大切なことを伝える時に相手を愛する心を持ってできているかな？「知識は人を高ぶらせ、愛は人を育てます」この言葉を覚えて今日をすごしていこう！

2023/7/16(日)

## 1コリント9:1-18

パウロはここまでに、他人を傷つけないながら自分の権利を主張することの間違いについて教えてきた。彼は使徒としての実践を通じて、自身の権利を捨てる姿勢を具体的に示した。パウロは飲食の権利や妻帯の権利、報酬を受ける権利を持っていたが、福音宣教の妨げにならないように自らの権利を放棄した。彼は自己の誇りを、福音のために全てを献げることに見出していた。彼はその権利を使わないことで、愛のない自己中心的な態度を反省させる鏡となった。彼の行動は、知識を誇りにし、他人を軽視する態度を戒めるものである。私たちはパウロの姿勢を学び、働き人たちの必要が満たされ、福音宣教のために一層努力できるよう祈りましょう！